

会 議 名	
令和 7 年度第 9 回 生活支援事業連絡会	
開催日時	2026 年 1 月 17 日（水）14:00～16:00
開催場所	本町暫定第 2 会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津、菊地原、田村（敬称略） きた包括：松村 ひがし包括：中島（+実習生） にし包括：久野 みなみ包括：河合（記録）
議 事 内 容	
1. ケアマネ研修について（田村係長より） 参加依頼の背景： ・昨年シャドーワークについて国から指針が出た影響で、主任ケアマネから地域課題（地域住民との顔の見える関係づくり、ちょっとした困りごと（暖房器具の故障）など）について検討したいという意見があった。市としても共有の場を持ってすすめているところ。 ・生活支援コーディネーターの持っている情報やコーディネーターの役割についての共有してほしい 研修： ・研修当日/生活支援体制整備事業を市から説明後グループワークにて進めていく予定。 グループワークではシャドーワークや困りごとについて共有、全体共有して情報交換、今後必要な資源の検討をする予定。 ・3/3(火)午後、3/5(木)午後@萌え木ホール A、B にて両日同じ内容を開催する。ケアマネジャーはどちらかに参加するが、2 層 Co は両日とも参加を依頼したい。ファシリは主マネに依頼する予定。一回 20 名程度の参加者を見込んでいるが、人数が少なかったら一日のみの開催。 目的： ・ケアマネジャーに生活支援コーディネーターについて知ってもらう。 ・ケアマネジャーから地域課題の情報を集める。（シャドーワークについても共有） （連絡会内の検討事項）・ケアマネジャーからあがる話として、身寄りのない人への対応（お金のこと、通院同行など）などすぐに解決策にはいたらないことがあがる可能性が高い。地権の話の方が需要があるかもしれない。 →すぐに解決できるものではないということは参加の前提として伝える。 2. 第 1 層協議体について ・活動報告は 3 分以内でコーディネーターから報告 協議体委員について： ・イスヨガの S 氏：後任として入ることが決まった。 ・民生委員枠は O 氏。 前回までの振り返り：資料①～③につて検討する予定。一つ一つ切り離して検討は難しいと考える。 ・町会の活動がみえない（町会加入のメリット等）新規入会者を取り込むにはどうしたらよいか。 ・今まではまだ社会参加していない方へのアプローチが多かった。 ・活動団体からも周知の場の要望があった。 →活動を知ってもらうためにどうアプローチできるのか →活動団体の周知活動イベントをやるのか、行うとしたら市報で公募などすると、包括とつながりのない団体にもつながれる。 現在の課題： ・一部では包括を知らない方も多い ・活動は定着しているが時代の変化によって若い人や担い手になるような方がいないのが今の課題では。 聞き取ったところでは、現在活動されている方は 60 歳代からすでに活動されているケースが多い。 担い手がいる例）町会が子ども会に予算をつけるなどして活動を支援、そうして関わりを持っておき、子どもが大きくなった段階で子ども会役員 OB・OG を町会へ取り込むなど。 ・社会の変化により、全体的に地域デビューが遅くなっている ・イベントや講座を実施する会場のアクセスの良さは重要 ・入る側も受け入れ側、どちらも意見はあるのではないか →活動団体によっては受け入れる体制が整っていないところもある ・加入が遅い（高齢）ため、担い手にはなれないが協力者は要る →いかに早い段階で若い世代とつながるか	

→最近つながった例) ①二小で元校長先生の地域コーディネーターが町会・PTA と連携して防災訓練を実施したケース。PTA の参加者は現在の副校長が全体メールで発信し、20 名ほどが参加。その参加者と地元の防災会のメンバーとの連携を、地域コーディネーターが実現した。子どものために参加した親たちが、町会関係者とつながるよい機会だったと思う。町会の防災担当とマンホールトイレ、パーテーション等の設置を参加者に伝える役割などを担っていた。

②ネットワークを持っている活動団体の方は自身のネットワークを駆使して担い手を連れてくることができた

今後検討事項：

- ・認知症サポーターもキッズだけでなく保護者世代を対象にしたものがあったもいいのではないか。保護者の親世代の介護予防、認知症の早期発見・対応に役立つのではないかな。
- ・主催（デビューの入口）がだれであっても興味があれば講座等に若い世代は来ている。分野にとらわれずネットワークを広げるためにも連携するのはどうか。
- ・元サロン主催者からさくら体操のリーダーには毎年リーダー育成講座はあるのにサロンリーダー養成講座はやっていないとの声あり。→それに当たるのは社協に居場所づくり講座があるし、サブスタッフ養成講座は一応担い手育成の講座ではある。
- ・SNS の活用（若い世代に向けて）

3. 令和 8 年度プレシニア・シニアのための社会参加講座（6 月）について

- ・講師代（二回分）予算はつく見込み。
 - ・土曜日開催はどうか。（若い世代へのアプローチとして）
 - ・きたまちセンターなど公民館開催はどうか（抽選の可能性あるが 5 月の最終週はねらい目）
- 講座・イベントの開催を知らず、たまたま通りかかった人にも当日参加してもらえそうな設定にできれば、新たな層とつながることができるのではないかな。

→第一層協議体後に再度連絡会等で話し合い進めていきたい。

4. 令和 8 年度生活支援連絡会予定について

- ・第 3 水曜日 午後 2 時から 4 時
- ・例年通り 8 月は休み
- ・令和 8 年度第一層協議体の予定について ①5/26(火) ②9/29(火) ③R9/1/26(火)

5. 応援ブックについて

- ・今週金曜日午前までに市に返送。

→予定のスケジュールよりも早めに第 1 校を業者に返すことで早めに第二稿をもらえる予定

6. その他

- ・医療連携会議 2/4 地域福祉コーディネーターに参加を呼びかけしている。ネットワークづくりにも良い機会。
- ・運協 3/17 地域ケア会議をやる可能性あり。
- ・きた：新しい団体へのアプローチ方法。チラシをみてメールで連絡したり、間をつないでいただける方に連絡したりしている。
- ・きた：「ゆるっとつながる大人のまんが雑談会」20 代から 40 代の参加者が多い居場所的なところ。参加者同士で自分のお気に入りの作品を紹介し合い、参加者人気投票で 1 位の方にはちょっとした景品がある。土日午後に開催し周知方法は市民掲示板へのチラシを掲載している。主に主催者が貼っているようで、参加者の連絡方法は Google フォームから得たメールアドレスで行っている。
- ・ひがし：「おとなりさんランチ」東町 5 丁目在住の方でひとり暮らしの方、限定して集まっている。友愛会館にて月 1 回開催。脳トレやテーマに沿った話をしている。お昼ははあとぼっとのお弁当をみんなで一緒に食べている。コロナ前から開催している。お弁当代実費。→はあとぼっとのお昼配達が終わってしまうため次どうするか検討しているところ。

→市内で他にも孤食防止の場があればいいと思う。

以前の例) 青空さくら体操の帰りにみんなでご飯を食べることがあったがコロナで中止になった。

- ・地域安全課の防犯対策補助金の事業、まだ利用が予算の 3 分の 1 ほどにとどまっている。自動通話録音機もまだ在庫あり。

次回開催予定

第 1 層協議体 2026 年 1 月 27 日（火）14 時～

生活支援連絡会 2026 年 2 月 18 日（水）14 時～ 於：本町暫定第 2 会議室にて 以上

会 議 名

令和 7 年度第 10 回 生活支援事業連絡会

開催日時 2026 年 2 月 18 (水) 14:00～16:15

開催場所 本町暫定第 2 会議室

参加者 小金井市介護福祉課：木津、菊地原 ※敬称略
ひがし包括：中島、にし包括：久野、みなみ包括：河合、きた包括：松村（記録）

議 事 内 容

1. 令和 8 年度プレシニア・シニアのための社会参加講座について（意見交換）

- ・前回の連絡会で昨年同様、S 氏による講演を中心に 5/30 (土) 開催を目指すとしたが、5/17～6/27 の期間、シニア SOHO の「シニアのための地域参加講座」が同じ土曜日に開催予定。日程が一部被るため開催時期の変更を検討。
- ・5 月開催の予定だったので S 氏への三度目の依頼に反対しなかった。だが、時期を遅らせるのであれば検討の時間が取れる。テーマ、講師について一から検討してはどうか。S 氏からこれ以上新しい話が出るとは思えない。
- ・社協ボラセンが 1 月～2 月にかけて開催した「55 歳から考える自分の活躍できる居場所」講座にも S 氏は登壇。3 回の連続講座だったが、ほかの回に比べ欠席者が目立ったと聞いた。
- ・まずテーマの決定、次いで講師の選定、講師との相談により開催時期を決める、という流れが筋だと思う。
- ・市でも S 氏に代わる講師についてリサーチをした。東海大准教授の SS 氏、定年後研究所の IT 氏はどうか。特に SS 氏は地域活動について積極的に講演活動をされているようだ。
- ・SS 氏の論文テーマをいまざっと見たところ、「居場所」というワードが目につくが、プレシニアを対象にしたこの講座では、居場所づくりより「定年後の新しい働き方、新しい趣味、地域とのつながりづくり」などがふさわしいように思う。
- ・参考として「男女問わず集客力の高い講演タイトル案」を用意。このタイトル案のなかでは、「スキル活用・キャリア継続タイプ」が講座の主旨にふさわしいように思う。「働く・学ぶ・支える を自分らしく組み合わせる」という提案はプレシニアに刺さりそう。
- ・いつまでも元気であるために「地域とつながっていないと…」ということは、メディアを通じて広く知られるようになってきたと思う。
- ・身近なプレシニア世代は定年後でも当たり前のように仕事を継続している。今は週 3～4 日の就労。余裕ができたので犬を飼い始め、飼い犬の散歩を介して地域に顔なじみができるようになった。
- ・「これまでのキャリアを生かして、地域で働き、地域とつながる」という提案ができるとよいのではないか。「キャリアの棚おろし」という表現も最近よく目にするようになった。
- ・講演というよりシンポジウムの形にして、講師候補者には基調講演とファシリテーションを依頼。パネリストには小金井市内で活躍するシニアに登壇いただくのはどうか。基調講演とファシリテーションを SS 氏に依頼。パネリスト候補者は連絡会で検討していく。
- ・基調講演とファシリテーションを SS 氏に依頼するとなると、2 時間の拘束時間が発生するためお元気サミットのための講師謝礼が残らない。
- ・お元気サミットでは地域団体紹介を中心に、MC をまちおこし協会の K 氏にお願いし、K 氏の演奏も含めた楽しいイベントにするのはどうか。
- ・5 月 30 日 (土) 開催予定から、7 月中土曜日の開催に延期すること、講師を S 氏以外、最有力候補を SS 氏とすること、講演だけではなく、基調講演とシンポジウムという形で開催することについて概ね合意する。
- ・それ以外は、来月引き続き検討する。

2. 応援ブック周知等について

- ・納品は 2/27 (金) 包括に 1 包 50 冊のものが 10 セット届く。
- ・市報 4/1 号にて半ページを用いて周知する。公共施設には市より配布し、なくなれば各包括で追加する。
- ・これまで 3 師会に配架していたが、あまり活用いただけていない様子なので今回より配架見合わせる。ただし、物忘れ健診にご協力いただいている医療機関には、市の認知症担当職員より届ける予定。
- ・市内のケアマネにはケアマネ研修の場で配布していく。
- ・アクティブシニアに届ける機会として、一つは SNS からの周知を。まちおこし協会の「突然ニュース☆コガネイ」にイラストを担当した O 氏、第 1 層コーディネーターと 2 層コーディネーターで出演。収録はカフェ Plum にて 3 月 10 日 (火) 15 時より。「突然ニュース」で取り上げ、まちおこし協会による公式 YouTube チャンネル、Facebook、HP からの周知に協力いただける。
- ・武蔵小金井駅、東小金井駅、Socola の 3 か所に、市の配架ラックが設置されており、まちおこし協会が管理している。アクティブシニア、プレシニアの目に入るためには、これらのラックへの配架が最適だと思われる。タイミングをずらしながら配架していく。

3. 活動報告から

<ひがし包括より>

- ・新たに発掘した地域資源「そのへんハウス」の紹介。

二世帯住宅の一軒家のうち、使用されていない部分を提供している。
家主は中学生のお子さんがある夫婦。キッチンおよび6畳一間を提供。
塾、リフレクソロジーほか、子どもの関係での活用が多い。
椅子がないため高齢者の利用は厳しそう。
月1回開催される「のんびりデー」では駄菓子、ゲームなど提供。子どもが多いが、高齢者の参加あり。
NHKで子ども向け番組に関わっていた方が開催している。

<きた包括より>

- ・最近開催した個別地域ケア会議のケースについて共有。

90歳の独居女性。昨年、老後資金のほとんどを失う詐欺被害にあう。そのことを近所に知られており、再度詐欺被害に遭うリスクが極めて高い状態。人との距離感に課題があり、メンタルもやや不安定だが、身体は元気で介護保険申請の材料がなく、本人も希望していない。
当面はやすらぎ支援ほか市の制度とインフォーマルサービスでサポートする方針。そのため、地域福祉コーディネーターのK氏、桜町センターのN氏とケア会議開催。引き続き連携のうえ支援していく。

- ・ペット情報について

2023年12月に作成したペット情報について確認。
ペットについての相談があった場合、社協の福祉総合相談窓口へとになっていたが、つなぎ先はあくまでも個人とのやり取りであるとのこと。

次回開催予定 生活支援連絡会 2026年3月18日（水）14時～ 於:本町暫定第2会議室

会 議 名

令和 7 年度第 11 回 生活支援事業連絡会

開催日時 2026 年 3 月 18 (水) 14:00～16 : 30

開催場所 本町暫定第 2 会議室

参加者 小金井市介護福祉課：木津、菊地原 ※敬称略
にし包括：久野、みなみ包括：河合、きた包括：松村、ひがし包括：中島（記録）

議 事 内 容

1. 令和 8 年度プレシニア・シニアのための社会参加講座について

- ・講師：東京都立大 M 先生（調布市の生活支援のコンサルをしている）に依頼し、受けてくださることとなる。
- ・テーマ：『これまでのキャリアを活かして、地域で働き、地域とつながる～今まで培ったキャリアを地域でどう活かせるか～』
「働きたい」という気持ちを持って定年を迎える方などの、社会とのつながりがなくなる事への不安や孤立、「まだ稼ぎたい」「ようやく自分の時間ができた」という色々な気持ちに沿った内容となるようにする。
- ・予算：講師の方へ今年度の予算すべてとなる 2 時間分をあてる。
- ・日程：第 1 候補 7/11(土)、第 2 候補 7/25(土)
- ・時間：14 時から 16 時
- ・会場：萌え木ホール、前原暫定会議室、公民館で検討する。
- ・パネリスト（3 名）：防災会 K 氏、スマホサポーター K 氏、史談会 O 氏へ依頼予定となる。市で確認を取った後、生活支援コーディネーターからそれぞれの方へ都合を伺う。
- ・当日の流れ：①基調講義 40 分②活動紹介各 5 分×3 名③シンポジウム 50 分
- ・申し込みをしたいと思わせるキャッチフレーズ：先生の講演タイトルを踏まえて打ち合わせ予定。
- ・対象者：「市内在住の 50 代からおおむね 70 代前半の方向け、地域活動・セカンドキャリアに興味のある方」

2. お元気サミットについて

- ・予算の無い中での開催となる。まちおこし協会 K 氏に依頼する予定で、きた包括松村氏よりお声掛けする。
- ・この 2 年間は活動支援の内容で行ってきたが、今後は別の内容で行うことも検討する。活動紹介を希望する声が多い。
- ・例年と違う形の紹介とすることで、別の方も来てくださると良い。
- ・地域包括支援センターや生活支援コーディネーターを知ってもらう機会となると良い。
- ・まちおこし協会 K 氏による歌のパフォーマンスをメインとして参加者を募り、来られた方に応援ブックや地域デビューガイドを活用した活動紹介ができると良い。
- ・歌のパフォーマンス時に地域で活動しているシニアの歌の会などと一緒にできると良い。

3. 個別課題抽出について

- ・今年度は市レベルの地域ケア会議の議題が見当たらず、開催が出来なかった。課題として挙げる場合に、根拠が必要となる。
- ・令和 8 年度は活動先の支援だけではなく地域課題の検討をしていけると良い。
- ・今年度の個別課題について振り返る。
令和 7 年度の個別課題から見受けられるのは、きた…ちょっとした手伝い、みなみ…ごみ問題、認知症、ひがし…情報、移動、にし…ちょっとした手伝い、ボランティアの課題が多い。こういった地域課題等で 2 層協議体ができると良い。
しかし、話し合いのメンバー（＝支え手となり得る方）を集めることが困難である。
ちょっとした手伝いなどについては、2 層協議体で検討しても答えが出ないものではないと思われる。有償ボラなど、善意だけで行うことではない仕組みづくりが必要であり、市・社協が関与していく部分になるのではないかと。
- ・個別地域ケア会議から地域課題を抽出し、各圏域の 2 層協議体で地域課題について検討し、解決しないものを 1 層協議体、市レベルの地域ケア会議として検討する流れを持つことを目標としていく。
- ・各課題に対し、どう対応したのかの結果を追いかけることにより背景を知り地域課題が見えてくると思われる。現状としては対応した後どうなったかを追うことはできていない。この先も結果を追うまでの事は難しいと思うが、対応した結果を追うことで背景を知っていく事ができると良いため、毎月対応内容のその後について確認の機会を設ける。

4. 小金井市介護支援専門員研修「生活支援コーディネーターの役割について」の振り返り

ケアマネがシャドーワークとして行っていることに対して、解決できそうなことについて振り返る

- ・電化製品の修理については福祉用具の方へお願いすると対応してくれる場合がある。また、地域において信頼があるが、オープンにはされていない情報（ペットや電気屋など）が包括にある場合もあり、相談してもらえると良い。

- ・「ごみ出しウォーク」として、近所の方でゴミ出しを手伝う必要のある家を周りながらウォーキングを行う。手伝う方の健康にもつながることでやり手が見つかるが良い。
- ・電化製品を処分する時に、必要な方が引き取れるネットワークづくり。
- ・困りごとを共有して解決を図れる（MCSなどを活用）ネットワークづくり。

5. 令和8年度の活動について

- ・年間スケジュールは別紙参照。
- ・評価シート（令和7年度、令和8年度）は4/15までに提出する。
- ・4月より、ボランティアポイントの対象が40歳からに引き下げられるため、スマホサポーターも対象となる。商工会への報告の流れは改めて確認予定。

6. 応援ブック周知について

- ・4/1号の市報に掲載予定。ボランティアポイントの記事が載るため、当初の予定よりも記事の大きさは縮小される。公民館へは配架手続きが先週終わっているが、各5冊となり市報に載った後はすぐなくなることが予想されるため、各包括より補充する。
- ・ホームページにも情報掲載予定。修正や変更については随時行っていく。

7. シニア世代の地域参加講座 講師について

- ・6/13(土)の14時から16時の間で50～60分間、介護福祉課・地域包括支援センターへの講師依頼あり。地域包括支援センターからは、みなみ包括とひがし包括が出席予定となる。

8. その他

- ・包括についての周知は、突然ニュース☆コガネイで行えると良い。リクルート目的としても良いのではないかな。

次回開催予定 生活支援連絡会 2026年4月15日（水）14時～ 於:本町暫定第2会議室